

意見 高鍋の将来をしっかりと

政策推進課長 自然環境、特
に、海、サー
フィンなどマリンスポ
ーツ、人情もある。

意見 職員の中に政
策集団を作り

問 コンパクトシ
ティの何を売
りにするのか。

町長 多様な人材確
保を図るべく、
魅力ある地域づくりを
取り組みたい。



倒壊した家屋

問 6次産業につ
いて農家への
周知作業は進んでいる
のか。

町長 住宅リフォーム+
空家対策を！

問 6次産業では、
県内、全国か
ら見て一番立ち遅れて
いる。

町長 農業者への周
知に関しては、
県農業振興公社開催の
セミナー案内を「お知
らせ高鍋」で行なっ
ている。

問 町家本店（民
間経営）は、
商店街活性化にどのよ
うな役割を担ってきた
かを伺う。

町長 方向性を出し
活性化へつな
ぐ基金になるよう考え
ていきたい。

町長 少ない理由と
して、後継者
不足や投資が生きにく
るか不安があり、町の
活性化に伴う補助金を
活用したほうが得策だ
との声も聞くが、今後
について伺う。



高鍋中心商店街

町長 商店街の景観
に統一感を持
たせ歴史的、文化的な
空間づくりや新規出店
者の増加や空き店舗の
減少が見られた。

問 現状の商店街
は、高齢者の
増加や日常的商品を扱
う店舗が少ない等の課
題があり、今後の活性
化は容易ではないとお
もわれる。一過性のに
ぎわいより永続的な客
の確保に努めるべきで
はないか。

町長 地元優先での
買い物をお願い
したい。

建設管理課長 穴があいてお
り非常に危険
な状態であり舗装面の
補修については早急に
やりたい。法面の関係
とか排水溝の整備につ
いては、今後計画して
いきたい。

※総合体育館の屋内天
井の照明機器の不備交
換と勤労者体育館の二
階力ーテンの改善につ
いて質問しました。



中村末子 議員

まち・ひと・しごと
地方創世のねらいは
魅力ある地域づくりを

と構築していただき
たい。

問 住宅リフォーム+
空家対策を！

町長 住宅リフォーム+
空家対策を！

町長 農業者への周
知に関しては、
県農業振興公社開催の
セミナー案内を「お知
らせ高鍋」で行なっ
ている。

商店街活性化に伴う
低融資制度の活用について
基金の利用を期待する

あなたの声を町政に

一般質問

▼本町では一問一答方式の
一般質問です。議員ひとり
の持ち時間は30分です。
今回は8人が行いました。
一般質問の全内容は後日、
町のホームページから閲覧
することができます。



残時間表示計が設置されました。

《特別委員会》

国民健康保険特別会計

Q…特定検診の受診の勧奨は。
A…意向調査の結果、電話・訪問での勧奨をしている。

下水道事業特別会計

Q…マンホールトイレとは。
A…避難場所になる東小正門前に2m間隔で5カ所設置し、災害時の避難所で利用する。

介護保険特別会計

Q…認知症対応型施設は足りているのか。
A…5事業所あり1事業所当たり9名で計45名の総数である。総体的には不足は考えていない。

水道事業会計

Q…老瀬浄水場の修繕費が高い理由は。
A…約40年経過し老朽化が進んでいるためである。



マンホールトイレ

津曲 牧子 議員



子ども・子育て新支援法の制度の周知は。

「みらい高鍋子育てBOOK」活用は幅広い世代に子育てを理解してもらおう

問

子ども・子育て新支援法の制度の周知は。

町長

各幼稚園、保育園を訪問し、保護者への説明と広報たかなべに掲載し周知を図っている。

福祉課長

町内9箇所ですべてに、作成した資料をもとに説明会を実施した。

問

保護者からの質問はあったのか。

町長

国の地域少子化対策強化交付金を活用し、妊娠から子育てに関する正しい知識の提供を広く行い、地域全体で子育てを展開する機運の醸成を目的とする。

問

「みらい高鍋子育てBOOK」は少子化対策ハンドブックとあるが、目的は。

福祉課長

認定の区分と認定子ども園、保育時間、利用料の質問があった。新制度の概要の説明をホームページの中で周知していく。

問

町民への周知は。

町長

全世帯への配布と地区回覧板での配布を行った。

問

里帰り出産の現状は。

健康課長

平成24年度は19人、25年度は15人、26年度は11人に助成を行い、医療機関や他の市町村から訪問の依頼があった場合は、対応している。赤ちゃん訪問2件、電話連絡4件、乳児健診1件を実施。また妊婦健診助成券を交付している。

問

妊婦に対しての支援は。

福祉課長

事業所が協力し町内32カ所に思いやり駐車場を設置している。

問

有事の際を考慮して、高鍋町母子健康手帳の電子化はできないか。

健康課長

予定はないが、健康管理システムで一元管理しているため、データの提供は可能と考える。

問

高鍋町美術館の観覧料を胎教として妊婦の無料化はできないか。

町長

検討し前向きに考えていく。



子育て情報満載の冊子



中尾地区道路現況

所収品目が提案され実用化が進んでいる。

問

高鍋町の定住政策の位置づけは。

政策推進課長

周辺市町村の定住促進に関する。本町では、まだ住宅取得支援事業等を発信されていないが。

問

本町では、まだ住宅取得支援事業等を発信されていないが。

問

本町全体の宅地平均価格を伺う。

建設課長

8年間で537戸である。

町道の整備は年次的に改修していく

町長

定住促進については、今後の人口減少対応策として重要な施策の一つと位置づけている。

問

本町の過去8年間の出生数及び死亡数は。また、これらを差し引いた人口減数は。

町民生課長

8年間で、出生数1593名、死亡数1868名、差し引いた数は275名の減となる。

問

本町の過去8年間の専用住宅建築戸数を伺う。

建設課長

8年間で537戸である。

問

本町全体の宅地平均価格を伺う。

課長

1平方当たり28150円である。

問

本町では、まだ住宅取得支援事業等を発信されていないが。

政策推進課長

周辺市町村の定住促進に関する。本町では、まだ住宅取得支援事業等を発信されていないが。

意見

今後、定住促進助成事業については、質問を継続していきたい。

町道の実情と対策案について

問

他の町村と比べて全体的に道路舗装状態が悪いと思われるが。

町長

指摘のとおり舗装耐用年数を超えている路線や交通量の増加による舗装面の劣化が進んでいる箇所などが多数見られる。劣化の激しい区間から年次的に改修していく。

ふるさと納税返礼品拡充について

問

ふるさと納税返礼品は、現在どうなっているか。

町長

地場産業振興会より15事業

花守山の整備は観光協会と協議

岩崎 信や 議員



問

花守山整備の進捗状況は。整備は23年度から着手し本

問

26年度で完了する。26年度実績で66・9%の進捗率である。

町長

巨大石像の安全管理は。石像の安全管理については、NPO法人高鍋観光協会の所有であるので、基本的には観光協会に管理してもらうのだが、石像が建てられてから、歳月が経過し、劣化も進行しているのので、安全対策が必要であることは十分認識している。本町の重要な観光資源であるので、観光協会とその対策について検討していきたい。

教育長

7月に38日間開催した。約6200人の来場があった。グッズ販売は、昨年を上回った。

問

小中学生の観覧が少なかつたように思うが、授業

教育長

そういう話もあったが、夏休み期間だったので、啓発のみ行なった。今後は学校と相談して、希望があれば検討する。

問

美術館の場所をよく尋ねられる。もっと大きな案内看板はできないか。

教育長

教育施設全体を含め、検討したい。

問

トイレの整備が東小から行なわれているが、今後の計画は。

教育長

本年度から29年度にかけて東西小学校、30年度以降に東西中学校の改修を進めていきたい。

教育長

子どもたちが一番気にかけている部分でもあるのか。

るので、計画は計画として、前向きに検討したい。



整備の進む花守山

あおき よしあき
青木善明 議員



敬老祝金制度見直しは百歳以上は誕生日に支給

問 敬老祝金制度の見直しは、百歳以上の方は、誕生日に

町長 敬老祝金制度は、百歳以上の方は、誕生日に支給出来るよう、見直しを図っている。

健康保険課長 今回、支給日

問 9月支給日を原則とし、百歳以上は誕生日に支給したい。

町長 敬老の日の諸行事等で祝金制度についての意見は、祝金について、意見はな



しんきん通りの街路樹

問 しんきん通りの街路樹は、電線に枝葉があたつており強風や大雨で電線が切れると思われるが、

建設管理課長 民地への出入り口の改良は、現状からの切り下げ工事を個人負担でお願いしている。

町長 部分的な修繕は必要に応じて行っている。今後大規模な補修が必要となることが考えられる。

町道の街路樹の管理は必要に応じ剪定・薬剤散布を実施

はるなり いさむ
春成 勇 議員



せめて電線の下で剪定してはどうか。また北側と南側では木の高さが違うようにみえるが、近隣の人達と協議をしてはどうか。

建設管理課長 剪定は高鍋町で行っている。特に違和感はないと思うが近隣の方の意見を参考にしながら今後判断したい。

問 車道から歩道への車の乗り入れ口について、乗り入れの際に踏み板が車道側へずれて危ないが、歩道の改良は出来ないか。

建設管理課長 民地への出入り口の改良は、現状からの切り下げ工事を個人負担でお願いしている。

問 歩道でアスファルトが盛り上がったたり剥がれたり、縁石が傾いたりしているが、補修はしないのか。

町長 部分的な修繕は必要に応じて行っている。今後大規模な補修が必要となることが考えられる。

問 高鍋高校前の街路樹も枝が電線に当たっているが管理しているのか。

建設管理課長 高鍋高校や地区の人が、年に2〜3回剪定している。

問 東九州自動車道からの雨水が原因の被災があったが改修しているのか。

建設管理課長 改修している。

問 住友財閥第3代総領事鈴木馬左也氏の別邸で、篠の武家屋敷（現在は老人福祉別館）の外壁が老朽化して朽ちている。修繕はしないのか。

町長 一生に一度の節目の誕生日に、支給できるように基準日を撤廃しては。理解はするが行政は条例規則で成り立っている。

問 今年百歳になった方が6月に亡くなり支給されないことで家族の方は大変無念で失望された。もつと早く改正すべきではなかったのか。

町長 祝金が受け取れなかった方もいるという思いで、今回、条例改正を提出した。

町長 一生に一度の節目の誕生日に、支給できるように基準日を撤廃しては。理解はするが行政は条例規則で成り立っている。

6次産業化への取り組みについて知識の習得や、ネットワークの構築を図っている

くろき ひろゆき
黒木博行 議員



問 6次産業化への取り組みについて、どのように進めていくのか。

町長 6次産業化への取り組みについて、宮崎6次産業化チャレンジ塾の中で農工商連携の実現に向けたカリキュラムがあり、知識の習得やネットワークの構築を図っている。今後農業者と農工商連携を図り、その実現に向けて努めていきたい。

問 ネットワーク交付金を利用して、地産地消推進協

町長 知識の習得やネットワークの構築を図っている。

問 農工商連携の実現に向け、高鍋商工会議所青年部、高鍋SSグループ、児湯農協青年部、高鍋町SAP会議が、定期的に意見交換やセミナーを実施しているという事だが、今現在、どのように話し合いが進んでいるのか。

町長 農工商連携の実現に向けて、商工会議所青年部、SSグループ、農協青年部及びSAP会議の意見交換等が定期的に実施されている。

問 農工商連携に向けた融資制度や、ファンド等の紹介やセミナーが開催されたのか。

町長 農工商連携に向けた融資制度や、ファンド等の紹介やセミナーが開催されたのか。

紹介については、県が発行しているフードビジネス応援ブックを窓口において配布している。町独自のセミナー等については、現在のところ、開催していない。

問 農工商連携は農業者振興公社や、児湯農業改良普及センターと連携して、相談支援体制の充実を図っているところであるとの事であったが、その後、進展があったのか。

町長 農工商連携等との連携については、宮崎6次産業化チャレンジ塾の中で農工商連携の実現に向けたカリキュラムがあり、知識の習得やネットワークの構築を図っている。今後農業者と農工商連携を図り、その実現に向けて努めていきたい。



6次産業化等協議会

◇プレミアム商品券利用店限定について

問 利用店決定の経緯・経過は過去に発行した内容を参考に実行委員会決定した。

町長 取扱い店舗は過去に発行した内容を参考に実行委員会決定した。

問 交付金はみんなが平等に潤うことであり、どのお店にも利用案内をし、公募するべきでは。

町長 実行委員会に委託し任せている。問題があれば県と調整し行っている、それで間違いないと思

問 商品券の国庫交付金補助事業は会員だけでいいのか、しっかりした吟味が大事だと思

町長 今後、意見も伺い実行委員会と話を進めたい。

議会を考えているとの事だが、地産地消推進協議会のメンバーは、どのようにして決めるのか。

産業振興課長 協議会を発足する考えはある。現在の段階では、メンバー構成等は決まっていない。



100歳おめでとうございます。

公民館連協 活動報告

第4回

がんばっちゃっど

第10連協

所属公民館

竹嶋・切原・兀の下

坂本・鬼ヶ久保・俵橋

公民館連絡協議会ごとに地区の活動を紹介します。

●第10連協は、高鍋の町を中心に見ると最北端に位置する地区であります。所属公民館数は6地区あります。活動では、各地区伝統行事を行っており、大変まとまりの良い地区です。毎年、連協では、6地区対抗グラウンドゴルフを行っており、住民の親睦を兼ね、連携強化に努めております。しかしながら、今後訪れるであろう、少子高齢化社会を迎え、今後5年10年後、小規模地区の存続ができるのかが大きな課題であり問題でもあります。常に危機感を肌を感じている次第です。



●環境美化活動を年2回行っております



●年1度の古墳祭



●年1度のレクリエーションと敬老を祝う集い



●青壮年部主催によるグラウンドゴルフ大会

◆編集後記◆

9月議会も終わり幾分日も短くなり、朝夕の涼しさに秋の気配を色濃く感じるようになりました。

先日の終戦記念日には友人と共に舞鶴神社公園内の護国神社へ参拝し、御国の為に尊い御命を捧げられた英霊に対し感謝の誠を捧げてまいりました。「自分の故郷は自分で護る」私は、心からそう考えます。それは確実に他国、そして他者への思いやりにも繋がります。

国や郷土を思う気持ちは、老若男女、未来永劫持ち続けなければならぬものであると信じております。安全保障、平和食糧について深く考えた議会でありました。今後、高鍋の為に信念を持って。

(岩村道章 記)

《表紙写真》

曾我部浩子さん

(高鍋町文化協会会員)

▼わかば保育園

夢いっぱい、元気いっぱいの子どもたちでした。

平成27年11月20日発行

■発行者 高鍋町議会議長 永友良和
■編集 議会広報編集特別委員会

☎(0983) 26-2020
■印刷 熊谷印刷(株)